

## 西郷を止めた男 谷干城の生涯 史料展



▲史料展

11月1日から30日まで町立美術館にて開催され、約600の方が来場しました。この史料展は、四万十町「志国高知 幕末維新博」推進委員会が主催し、約20点の谷干城に関連する貴重な史料や、当時の様子を再現したジオラマなどが展示され、来場者から大変好評をいただきました。

また、関連事業で11月11日にしまんと町社会福祉協議会にて開催した、中公新書「谷干城」の著者である小林和幸氏による「谷干城と明治日本」講演会では約90の方が来場し、『谷干城』について理解を深めました。

## 志和ふるさとまつり

12月2日、志和漁港周辺で志和ふるさとまつりが開催されました。

この祭りは、志和地区の新鮮な魚介類や農産物を味わっていただき、地域の活性化につなげようと、毎年行われています。

当日、この日のために志和の漁師さんが準備した伊勢エビを豪快に半身使ったエビ汁は、販売前から長蛇の列ができ早々に完売。エビ汁と並んで人気のすり身入り天ぷらも、用意された1600枚が完売。寿司や農産物なども次々と売れました。

その他にも、志和産「米豚」の販売や定番の魚介類のバーベキューを楽しむ家族連れなどで浜辺は大にぎわいでした。人気の志和港クルージングやお楽しみくじ入り餅投げなど、志和ならではのお祭りは、大盛況でした。



## 四万十 ふくしまつり



障害者週間である12月8日、四万十町農村環境改善センターにて、四万十ふくしまつりが開催されました。

このイベントは、障害理解の啓発を目的に平成22年度から行われています。

今年は障害者スポーツ体験や餅投げ、飲食店の出店、窪川高校シクラメン販売など盛りだくさんの内容で、多くの方にご来場いただきました。パラリンピックの正式種目である「ポッチャ」の体験には、老若男女問わずご参加いただき、大いに盛り上がりました。今後も楽しく『ふくし』に触れることができるイベントを目指していきます。

## 第32回 全農こうち肉牛枝肉共励会 「黒毛和種の部」 最優秀賞・高知県知事賞受賞

11月19日、高知市にて第32回全農こうち肉牛枝肉共励会が開催されました。この共励会は高知県内の和牛肥育農家の技術確立と枝肉の資質向上を目的に開催されています。今回は県内全域より全26頭が出品され、県畜産試験場長ら5人が肉質や歩留まり、脂の入り具合などを審査しました。その結果、「黒毛和種の部」において有限会社鈴木（本町）の出品牛が最優秀賞・高知県知事賞を受賞されました。



## 第55回 高南台地総合美術展覧会

11月9日から15日まで、第55回高南台地総合美術展覧会が開催されました。

開催期間中は、800名を超える来場者にご覧いただき、また、出展者数106名、作品数147点と盛大な展覧会となりました。今年は無鑑査の方も審査の対象とする「台地展賞」(5年に1度)もありました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)



絵画	
台地展賞	高垣 恵一
特 選	伊藤 光代 森下 嘉晴
褒 状	柴田 美千代 山本 哲資
奨励賞	中平 浩太 又川 和男
新人賞	嶋岡 幸子 下元 洋子

書道	
台地展賞	森本 瓊象
特 選	岡 春草 宮崎 松亭
褒 状	尾崎 紫紅 広田 紅雲 森野 清水
奨励賞	田辺 三翠 中屋 松雲
新人賞	廣田 香翠 堀内 仁峰 辻本 里仙
新人賞	竹村 由美

写真	
台地展賞	奥宮 正洋
特 選	濱田 典昭 和田 裕實
褒 状	南部 多鶴子 榊山 浩孝 藤戸 博
奨励賞	横田 好子 森田 菊美 鬼頭 俊英
新人賞	前田 佳穂

工芸	
台地展賞	中平 浩
特 選	大川内 憲作 生田 浩子
褒 状	伊与田 美紀 佐治 わき
奨励賞	濱岡 美智子 小野 雄介
新人賞	長谷部 文尾

## 四万十川アユの再生と流域の地域未来づくり



11月25日、農村環境改善センターで、「四万十川アユの再生と流域の地域未来づくり」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。

当日は100名近くの来場があり、高知大学特任教授の黒笹慈幾先生やたかはし河川生物調査事務所の高橋先生のご講演のほか、4名のパネリストのトークセッションでアユのブランド化の取り組みや子どもたちへの川文化の継承などについて話しあっていただきました。

本シンポジウムの内容については、取りまとめたものを今後町のホームページで公開する予定です。